

みつけたみよしの
はつらっさん



一日一日を楽しんで過ごしたい

田代 温子さん(三好丘あおば)

要約筆者として長年活躍された田代さん。要約筆記とは、聴覚障害のある人に、話の内容をその場で文字にして伝える筆記通訳のことです。話を正確に聞き取り、要点を短い文にまとめ、書きながら次の話を聞くと、技術が必要なこの仕事。「頭をフル回転させる要約筆記の仕事に巡りあったのが健康の秘けつです」とにっこり。また、9年ほど前に趣味で始めたフラワーアレンジメントは今ではプロ顔負けの腕前。「孫が結婚するとき、式場や披露宴会場に飾る花をプレゼントできたらいいですね」と夢を膨らませます。

趣味や老人クラブの活動で大忙しの毎日ですが「一日一日を楽しんで過ごしたいです」と田代さん。秋には旅行を計画するなどますます意欲的です。これからお体に気を付けて趣味を楽しんでください。

▶▶▶プロフィール

たしろ・あつこ 昭和6年生まれ。全国要約筆記問題研究会名古屋事務所の要約筆者として平成18年まで活躍。三好丘あおばの老人クラブでは女性部長や会計を務め、現在は総務担当。フラワーアレンジメントやグラウンドゴルフ、手芸、旅行など多くの趣味を持つ。



みよっ子

三好丘中学校
吹奏楽部

今回は三好丘中学校の吹奏楽部を紹介しします。顧問の藪野幹子先生と部長の鈴木茉友さんに話を伺いました。



音楽室へ近づくとつれて聞こえてくる力強い演奏。吹奏楽部は部員53人の大所帯です。部をまとめる部長の鈴木さんは「みんなで音を合わせるの難しいけれど、それが一つになった瞬間がワクワクします」と部活の楽しさを話します。顧問の藪野先生は「演奏も大切ですが、あいさつと返事をしっかりと行い、部の一体感を大切にすることが心掛けています」と話し、より良い演奏を追及して切磋琢磨する部員たちの姿勢を温かく見守ります。

コンクール以外にも病院や刑務所で定期演奏会をしたり、学校行事で演奏したりしている吹奏楽部。鈴木さんは今後の目標を「定期演奏会で観客を感動させる演奏をすることです。コンクールも出場するからには金賞を狙います」と意欲的に話します。3年生にとっては最後の夏。部員全員で感動のフイナーレを目指した猛練習が続きます。



お誕生日コーナーの応募者で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク・ク・さんさんチャンネル「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

おめでとう
お誕生日ようび
7月



「おじいちゃん、おばあちゃんが大好き」
とても人懐っこいえまちゃん。おじいちゃんとおばあちゃんが大好きで、遊びに行くときそのままお泊まりする時もあるんだって。お気に入りのディズニーの歌や踊りを見せてくれる元気なえまちゃんに「友達をたくさんつくって明るく子になつてね」とお母さん。

井筒 絵万ちゃん(三好丘おおば)

父・勇さん 母・亜子さん
平成17年7月21日生

出場者募集

【9月のお誕生日コーナー】
▼応募期間 8月1日から5日まで(土・日曜除く)
▼対象 9月生まれで3歳未満の児
▼応募方法 秘書広報課へ電話 ☎(32)83357
※7月生まれの応募は、18人でした。(抽選で掲載決定)



「心優つてお兄ちゃん」
はたらく車が好きで、大きくなったらダンパーの運転手さんになりたいこうしくん。草取や床ふきのお手伝いもできるよ。弟の翼杜くんのお面倒を見てあげる優しいこうしくん「誰とでも仲良くできる、男らしいスポーツマンになつてほしいな」とお母さん。

富山 皓嗣くん(福谷)

父・順二さん 母・美加さん
平成17年7月28日生



Miyoshi no Bungei

俳句

盆栽に家主顔して雨蛙
書き置きのあるて竹の子届きをり
麦秋の丘を一気に郵便車
朝掘りと婆笥を売りにてをり

竹下徳三郎
光岡 秋生
北出 風光
武内 節子

短歌

枯色を根方に沈め萌え上る草のみどりのそよぐ
土手道
たおやかに空に泳げるこいのぼりゆーらりゆーらりとのどかなりけり
里山のなだりに一本藤の花つつましく咲く一日
見あかず

酒井 坂栄
佐藤 てる子
鈴木 早苗

狂俳

都市化
懐かしい地名が消える
危険だわ
夏は痴漢が多いから
訳有り
踊りの輪から抜けて行く

原田 里秋
塚本 湖村
久野 夢楽

住みよいまちづくりを目指して

三好町安全なまちづくり推進大会・環境美化推進大会

住みよいまちづくりを目指して6月14日、安全なまちづくり推進大会・環境美化推進大会がサンアートで開かれました。初めに久野知英町長が「安全で安心なまちづくりのために、ご協力をお願いします」とあいさつ。続いて、活動功労者や習字、ポスター作品の入賞者などを表彰しました。また交通安全チーム「あゆみ」による寸劇が行われ、会場から拍手と歓声があがり、参加者は防犯や安全、環境美化への意識を高めていました。



トップアスリートが熱く指導

町制施行50周年記念オリンピック交流事業

町制施行50周年を記念して、6月22日、総合体育館でオリンピック交流事業が行われました。ミュンヘン五輪男子バレーボールの金メダリストで、全日本男子バレーボール代表監督も務めた大古誠司おおくせいじさんを招き、町内の中学生などおよそ100人が参加。講話や実技指導を通して交流しました。質疑応答では「ミュンヘン五輪で支えになったものは何ですか」といった質問が交わされるなど、会場は参加者の熱気にあふれていました。



日ごろの考えを生き生きと発表

少年の主張三好町大会

子どもたちが考えていることや実践していることを広く伝え、青少年の健全育成への理解を深めてもらうと6月21日、少年の主張三好町大会がサンアートで行われました。町内各小中学校の代表12人が、友情の大切さや将来の夢などを生き生きと発表。日ごろの思いを会場の皆さんに伝えていました。なお県大会への出場者選考会には、三好丘中学校3年の佐藤和香子さとうわかこさんと北中学校3年の扶瀬聡史ふせさとし君が推薦されました。



まちづくりについて学ぶ

住民参加のまちづくり勉強会

住民と行政が歩調を合わせて協働でまちづくりを行おうと6月23日、住民参加のまちづくり勉強会を学習交流センターで開催。せんだい・みやぎNPOセンター代表理事の加藤哲夫かとうてつおさんを講師に招き講義が行われました。加藤さんは「市民活動とは無報酬で社会や他人に奉仕することではなく、市民が自発的に問題を解決しようとする行動です」と住民自らによるまちづくりについて話し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



栄養や健康について考えよう

60歳からの栄養・健康教室

60歳以上の人たちに栄養や健康について考える機会にしてみよう。6月25日、60歳からの栄養・健康教室が保健センターで開催されました。管理栄養士の講話に続いて、鯖さばのカレー南蛮煮とポテトサラダ、根菜の入ったスープの3品の調理に挑戦。合計で600キロカロリー未満と、大変ヘルシーで栄養抜群の料理が完成しました。調理後は全員で試食し、参加者の男性は「家でもぜひ作ってみたいと思います」と意欲的でした。



遊休農地を利用した収穫体験

ほっとホット農園「農作物収穫体験」

遊休農地を利用して収穫体験をしてもらおうと、ほっとホット農園実行委員会が丹精込めて耕した農園。その「農作物収穫体験」が6月21日と22日に行われました。22日はあいにくの雨の中、およそ50人が収穫を体験。とうもろこしやじゃがいも、テッポウユリを楽しそうに袋いっぱい収穫。参加者の一人は「これだけ多くの野菜を収穫することができてうれしいです。来年もぜひ参加したいと思います」と笑顔で話していました。

